

1 単元名 工業の発達とわたしたちの暮らし

2 単元目標

- 我が国の工業生産の様子について関心をもち、意欲的に調べることを通して、国民生活を支える我が国の工業生産の発展を考えることができる。 【関心・意欲・態度】
- 我が国の工業生産の様子から、調べたことをもとに、我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることについて考え、適切に表現することができる。 【思考・判断・表現】
- 我が国の工業生産について、基礎的資料を活用して調べるとともに、調べた過程や結果をまとめることができる。 【観察・技能】
- 我が国の工業生産は、国民生活を支える重要な役割を果たしていることについて理解することができる。 【知識・理解】

3 指導計画（全11時間）

- 第一次 自動車はわたしたちの暮らしにどうかかわっているのか・・・1時間
- 第二次 自動車は、どのようにつくられているか・・・7時間
 - 第1時 自動車工場の見学
 - 第2時 自動車ができるまで（1）
 - 第3時 自動車ができるまで（2）・・・本時
 - 第4時 自動車ができるまで（3）
 - 第5時 自動車のゆくえ
 - 第6時 関連工場を調べる
 - 第7時 自動車工場とのつながり
- 第三次 どんなことをたいせつにして、自動車はつくられているのか・・・3時間

4 指導上の立場

児童の実態は省略

- ・ 児童が主体的に学習に取り組むことができるように本単元では、児童に話し合いの司会をまかせていきたい。また、本時では、すべての児童が学びに参加できるように、調べて出てきた疑問点やわかったことについて小グループ内で自由に対話をする時間を保障するようにする。小グループで解決しない疑問やグループ内で意見交換した内容については全体に広げていきたい。そうすることで友達とともに学び合う喜びや楽しみを味わうことができると考える。
- ・ 資料の図やグラフを使って意見や質問をする時には、実物投影機でスクリーン上に拡大し、マーカーで記入を入れるなどして焦点化していきたい。また、必要であれば自動車ができるまでの工程においてデジタル教科書の動画を使って理解を深めていきたい。

5 本時案 第二次 第3時

目 標	調べたことをもとにして、自動車生産のしくみや働く人の工夫や努力について考え、適切に表現することができる。
-----	--

学習活動	
1 前時までを確認する。	○ 前時までの学習内容を想起させ、本時のめあてを板書で知らせる。
2 本時の目標について確認する。	○ 児童主体の話し合いにするために児童が司会を行うようにする。 自動車はどのようにつくられているのか
3 調べたことをもとに自動車はどのようにつくられているか話し合う。 (1)小グループ	○ 司会の進め方は毎時間の流れにそって行うようにし、司会者も自信をもって行えるようにする。 ○ 自分が調べたことを共有したり、分からないことをたずねたりしやすくするために小グループでの対話を取り入れるようにする。 ○ 個人・グループ内で分かったこと・疑問点を発表させて全体へ広げ、理解を深めていくようにする。
(2) 全体 ・ わかったこと ・ 疑問点	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><評価の観点と方法> 調べたことをもとにして、自動車生産のしくみや働く人の工夫や努力について考え、表現することができているか。 【思考・判断・表現】(話し合い・ワークシートから)</p> </div>
4 本時の振り返りをする。	○ 視覚的にも訴えるために、できるだけ実物投影機に図などの資料を示して説明や質問をするように支援していく。 ○ 児童の発表で教科書の資料を使う場合には焦点化しやすくするためにデジタル教科書を使うようにする。 ○ 必要ならば教師側で作業工程の理解を深めるためにデジタル教材の動画を見せるようにする。 ○ 本時の話し合いを通して、わかったこと・知ったことをワークシートにまとめるようにする。

利用するICT機器及びアプリケーションソフト	実物投影機 プロジェクタ スクリーン ノートPC(教師用) デジタル教科書
ICT活用場面	テレビでデジタル教科書を拡大提示することで焦点化する。 実物投影機で資料のグラフや図を映し、視覚的に自分の考えを説明することができるようにする。